

報告事項 ケ

平成20年度第4回教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議の概要について

平成20年度第4回教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議の概要について、別紙のとおり報告します

平成21年3月20日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

平成20年度第4回教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議の  
概要について

家庭・地域教育課

1 日時 平成21年3月4日(水) 午後1時30分～3時40分

2 場所 県庁 第2庁舎 第34会議室

3 出席者 委員12名、事務局15名

4 議事及び審議等の結果

(1) 鳥取県スポーツ振興計画について

- ・鳥取県スポーツ振興計画最終案について協議
- ・前回提出した資料との変更点について説明
- ・頂いた意見を元に一部修正し、分科会長の承認を得た上で次回の教育委員会に議案として提出することに決定

(2) 鳥取県教育振興基本計画について

- ・鳥取県教育振興基本計画(案)について協議
- ・1月15日～2月12日まで実施したパブリックコメントの実施結果、平成21年度アクションプランについて説明
- ・(案)のとおり承認

(3) 来年度以降の審議案件について

- ・来年度以降の審議案件について、事前に頂いた意見をもとに協議
- ・来年度以降、家庭の教育力・地域の教育力向上について、分科会として提言できるように取り組むことに決定

(4) 報告事項

平成20年度読書活動推進フォーラムの実施結果等について報告

5 委員からの主な意見

【鳥取県スポーツ振興計画について】

- ・小・中・高等学校のスポーツ活動内容について示された望ましい活動日数、練習時間を守らない場合、罰則はあるのか。
- ・望ましい活動日数、練習時間が具体的に示されることによるデメリットはないのか。
- ・小学生のスポーツ活動内容については、修正案のとおりでよいが、中高生のスポーツ活動は違う。
- ・小学生のスポーツは勝ち負けにこだわらない方がよい。親の方が熱心すぎる傾向がある。
- ・スポーツ活動方針について、指導者は保護者にきちんと説明できるのか。スポーツ活動は、指導者の育成が肝心である。

### 【来年度以降の審議案件について】

- ・不登校、引きこもりの原因の一つとして、メディアの問題がある。規制が必要。
- ・メディアリテラシーに関する施策が必要。
- ・子どもの周りの環境に問題がある。
- ・親の初心者、素人にとって、“子育てはこうすればよい” というような指針を作れないか。
- ・鳥取版の「親学」指針があってもよいのではないか。
- ・PTA活動の中に、各年齢期に応じた「親業」「親育ち」研修が必要では。
- ・PTA活動はどうあるべきか。役員のなり手が居ない実態がある。
- ・親も忙しく、子どもが家庭で褒められる時間がないのでは。「お手伝いで親育ち」のようなスローガンで「お手伝い」を奨めることはできないか。
- ・部活動、地域活動、学校行事が、放課後活動の選択肢の一つとして認知されるようにしたい。
- ・多重債務の問題がある。金銭教育が欠けている。
- ・民俗芸能、伝統行事等廃れていく前に次世代に伝えて行かなくてはならない。
- ・芸術、文化は心が荒んでいるときほど重要である。
- ・指導状況を把握しないで、スポーツを熱心に指導している人が非難されるようなことがあってはならない。

### 【参考】

#### 委員名簿

氏名	所属・職名等	
浅川 滋男	鳥取環境大学環境情報学部教授	(欠)
油野 利博	鳥取大学地域学部教授	
石浦外喜義	鳥取城北高等学校教諭	
井上 耐子	鳥取県連合婦人会長	
入江 雅史	大山町教育委員会幼児教育課課長補佐兼社会教育主事	(欠)
梅木千賀子	元鳥取県体育指導委員協議会理事	
小谷 次雄	倉吉市成徳公民館長	
田中 陽子	社団法人鳥取県老人クラブ連合会女性委員会委員	
土海 孝治	倉吉市立小鴨小学校長	
福浜 隆宏	日本海テレビジョン放送株式会社アナウンサー	
松本加奈子	鳥取県教職員組合書記	
水野 聖子	ガールスカウト日本連盟鳥取県支部長	
美田耕一郎	鳥取県子ども会育成連絡協議会副会長	
山田 節子	児童書を楽しむ会「つくしんぼ」代表	

#### 事務局

次長、教育総務課、家庭・地域教育課、文化財課、体育保健課、スポーツセンター